

春日部市自治会連合会会報



KASUKABE Residents' Association News

第25号



自治会・町会・地区・区は地域の輪

自治会・町会・地区・区では、地震・風水害等の災害に備えて自主防災活動や要援護者の避難支援、青少年の健全育成、安全・防犯パトロール、環境美化活動、住民同士の交流を深めるための活動等を行っています。地域の輪を広げるため、自治会・町会・地区・区に加入しましょう。



コロナ禍でも **お花で** 街に潤いを

令和2年度 自治会活動写真コンテスト【最優秀賞】川久保自治会
コロナ感染症対策(マスク)下での自治会有志によるお花畑除草作業

「オアシス運動」は挨拶の言葉の頭文字をとったもので、地域を「オアシス」にするために、家庭、学校、を、ボランティア活動の輪を広げましょう。

特集 コロナ禍にも負けない！自治会活動 (2ページ) SDGsと自治会活動 (3ページ)

- 我が街の活動紹介 (4ページ)
- 役員研修会 (7ページ)
- 地域貢献賞の受賞者 (7ページ)
- 自治会活動写真コンテスト (7ページ)
- 加入促進事業 (8ページ)
- 粕壁地区の紹介 (8ページ)

※その他、自治会連合会の活動の詳細は、ホームページ (<http://kasukabe-jichiren.net/>)をご覧ください。



コロナ禍にも 負けない! 自治会活動

3密を避けて**できる**こと
= 屋外での美化活動



こんなときだからこそ、キレイな街並みは地域に潤いを与えてくれますね。
マスクをして屋外でする活動として、地域の花植え活動や、公園等の清掃が行われました。

コロナ禍だから**すべき**こと
= コロナ対応防災訓練

コロナ禍であっても、災害はいつくるか分かりません。

防災訓練では、例年とは違い連絡網を使って避難所の開設情報等を電話連絡していく「情報伝達訓練」が多く行われました。また、検温所や間仕切りなどを設置し、コロナに配慮した避難所の運営訓練を実施した自治会もありました。



コロナ禍でも、感染拡大防止を図りながら、例年とは違う工夫を凝らした自治会活動が見られました。
「3密は避けても、人とひとの心のつながりは絶やさないと」という想いで活動された、いくつかの活動事例を紹介します。

会員に**安心**を = マスク等配布



大変なときでも一人ではない! という安心。

全国的に様々な物資が不足して不安な時、マスクや消毒液を全戸配布したり、備蓄していた手拭いで手作りマスクをつくり高齢者に配付した自治会がありました。

地域に**貢献**
= 商品券
配布



コロナ禍で困っているお店を助きたい!

感染拡大防止にご協力いただいている地元のお店に少しでも貢献したいという想いから、事業がおこなえないことによる会費の還元を市内共通商品券で配布した自治会がありました。



地域経済を**応援**
= かすかべ自治会カード

お買い物は、市外より地域の身近なお店で

コロナ禍で大変な中、自治会活動支援のために178の事業者の皆さんにご協力いただいています。春日部市自治会連合会ホームページでも最新の協力事業者が確認できますのでぜひご覧ください。

かすかべ自治会カード協力店の積極的な利用など、地域の身近なお店を、これからも応援していきましょう!

自治会連合会事業



自治会連合会
ホームページ

▶▶▶カードは、令和元年10~11月に、自治連加盟の自治会により、会員世帯に1枚ずつ全戸配布されています。

安心・安全で住みよい街をつくるために皆さんが取り組んでいる

自治会活動はSDGsに通じています

全般的な自治会活動は11・17のゴールに関連

実は

高齢者の見守り活動は3のゴールに関連

子供会への支援活動は4のゴールに関連

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な開発目標 (SDGs) とは、2015年9月の国連サミットで定められた、2016年から2030年までの達成を目指す国際目標です。貧困、エネルギー、成長・雇用、気候変動など、持続可能な社会の実現のための17のゴール(目標)が掲げられています。国だけでなく、一人ひとりの参加と行動を呼びかけています。

SDGsと自治会活動

防災・避難支援・防犯等の活動は11・13・16のゴールに関連

ごみの減量化、資源化への協力は12・14のゴールに関連

各種行事やイベントなどは11・17のゴールに関連

かすかべ自治会カードは8・11のゴールに関連



自治会連合会は、かすかべSDGsパートナーズに登録して市の取り組むSDGs活動に協力していきます。

我が街の活動紹介

<令和2年度>



浜川戸町内会



町内会長

梅田 正雄

当町内会は、旧粕壁の北端に位置し、国道16号、東武アーバンパークライン近くに挟まれ、西に春日部上八幡神社、春日部稲荷神社、浅間神社、八幡公園等があり比較的緑豊かな戸建住宅の多い、加入会員375世帯、加入事業所12社で構成されています。

会の運営は会長、副会長3名、会計2名、監査役2名、その他幹事、総務、事業所係等、執行部計15名、理事10名の合計25名で運営し各組班長、防

犯推進委員、町内



三遊亭游若師匠出演の浜川戸落語会

活動推進委員、クリーンかすかべ推進員、青年会、体育指導員、わかば会、浜寿会、各神社

総代に協力を頂いております。会の活動状況は、毎月1回、古隅田川遊歩道の区域限定草取りと清掃、夏祭り、盆踊り大会、子供相撲大会、ラジオ体操、4町会合同防災訓練、体育祭、餅つき大会、青少年非行防止パトロール等の活動で地域の絆を図っています。

また、毎年2月に落語会を催し演者三遊亭游若（一昨年の社会人落語日本一決定戦に於いて優勝）師匠を招いてます。住み良い町づくりを目指し役員一同活動しています。

梅田一区地区



地区長

岩松 捷次

東には古利根川、南には古隅田川が流れていて古利根川に合流し、北には国道16号があり、川と鉄道と国道に囲まれた小さなまち、それが我が愛する梅田東です。地区の中心に梅田東女體神社があり、ここに地区の集会所がありますので、役員会、夏祭り、防災

訓練、運動、新年会、祭礼、催し物など全て神社の境内で行っています。

女體神社は春日部で一番古く、開創して今年は1120年になります。70年前は杉の巨木が立ち並び、昼でも暗かったのですが、今はスカスカになりました。



諸活動が行われる神社境内の清掃

また、このごろは畑が少なくなっており、昭和の中ごろまでは「梅田ごぼう」が特産でした。畝間を広くとって種をまきましたので、長さ1m太さが10cmもの太いごぼうができました。土質が深く、ごぼうに適しているのでしょうか。

大正時代には「梅田ごぼう」は皇室に献上されたそうです。わが地区の特徴は、町内に

商店が1軒も無いですが、子どもの声が賑やかに聞こえるまちであることです。



町内会長

金重 一夫

一ノ割町会

私達の地区は一ノ割本田第一、本田第二、本田第三、根耕地自治会、新田・大沼自治会の5自治会2600世帯で一ノ割町会という連合自治会を組織し、事業は大人数のメリットを活かして実施しています。今回のコロナ禍では、自治会員に向けては感染対策の注意喚起チラシによる情報提供や、地元商店を支援するため市内共通商品券を全会員に配布しました。

また、医療従事者が雨合羽を防護服にしていると聞き、備蓄していた雨合羽50着を医療機関に寄贈するなど社会貢献にも取り組んでいます。

このような取組みの一環として、以前に中国の小中学校3校の児童達が来日した際、「羽子板の坂田」の坂田会長（本町地区会長）とともにお世話したことで、中国の児童達

が小遣いを出し合ってマスク5千枚を調達し送ってくれるという嬉しいこともありました。マスクは市を通じて市内の学校に配布されました。今後も自分達の町会内はもちろん、市内全体の活性化に向けて自治会員とともに活動していきたいです。



中国江蘇省張家港市から市へのマスク贈呈式／市から送る感謝状



自治会長

大畑自治会
渡辺 進

当自治会は東武鉄道と国道4号線と武里団地と、複雑な地形により本田と新田に二分されている。世帯は1100を超え大世帯で、100の班がある。

そこで今年4月1日を期して新田が「大畑新田自治会」として独立することになった。今後は両自治会が切磋琢磨していくことになる。



県指定無形民俗文化財「やったり踊り」

ところでコロナに翻弄された昨年は、ほとんどの行事が中止となった。当地が誇る県

指定の無形民俗文化財「やったり踊り」も中止。真夏の宵に地元住民が一年で最も熱く燃える瞬間であるだけに、中止による住民の失望は大きい。今年はずいぶん願わずにはいられない。

コロナで各種行事が中止されたことから、自治会では全会員に第1弾として「マスク」を、第2弾として「懐中電灯」を、第3弾として「ショッピングバッグ」を配布した。

ともかくコロナが終息して一日も早く元の生活が訪れることを願うと同時に、自治会活動が和気藹々の中に行うことができることを、ただ願うばかりである。



自治会長

下蛭田中央自治会
細井 隆治

当自治会は、2008年9月に既存の下蛭田自治会の世帯増に伴う地域分割で新たに発足し、13年目を迎えました。豊春小東側を流れる旧古隅田川に沿い岩槻区と隣接した540世帯の自治会です。

主な事業は、健康ウォーキング、文化講演会、ラジオ体操



地域防犯パトロール隊のみなさん

地区体育祭、防災訓練、三世代交流芋煮会を開催する等、多彩な催事を活発に展開しているのが特徴です。

また、16名の有志による地域防犯パトロールを行っていただきます。継続8年目となり、地域に信頼を築き、市防犯協会から感謝状を頂きました。

しかし、令和2年3月より日常に居座り続ける新型コロナウイルスによって、会議や催事等が奪われてしまいました。自治会費も集金困難と判断し、年間免除と致しました。

しかし、防災訓練は、この様な時だからこそ中止せず、感染リスクの伴わない電話連絡で、緊急時情報伝達訓練を実施しました。

終息の見えないコロナ禍中で、皆が安心できる活動を模索しながら、地域に根ざした貢献する志を共有し、活動を進めて参りたいと思います。



地区長

八丁目新町地区
岡田 友宏

当地区は、古利根川に架かる新町橋と地続きにある88世

帯の小さな地域です。地区の役員は、地区長、副地区長1名、会計、書記、監査で構成されておりです。

主な年間活動を紹介します。八丁目の神社（八坂香取稲荷合社）の初詣に合わせて毎年八友会（祭り愛好会）の有志により神輿の町内渡御が行われます。

3月は古利根川の清掃。5月には春のクリーンデーにより地区内清掃があります。

7月、夏祭りに参加。当地区最大の行事で2か月前から準備が始まります。当地区の山車は、明治初期に造られた伝統あるものです。祭りの最終日には、市の全体パレードに参加、大いに盛り上がります。



「志ん町（しんまち）」の山車（令和元年）

10月は体育祭。11月には秋のクリーンデーにより地区内清掃、そして、八丁目主催の合

同防災訓練、更に、75歳以上の御老人を接待して演芸食事会を開催します。

昨年は大変残念なことにコロナ禍のため、夏祭りをはじめ、あらゆる行事が中止となりました。

本 田 上 自 治 会



自治会長 時田 美野吉

当自治会は、一ノ割駅から東に約1kmの大落古利根川に架かる藤塚橋を渡った位置にある住宅街です。会員数は約700世帯で、6ブロック43班に分かれています。会の運営は、会長以下副会長2名、理事10名、及び、班長43名が会計、総務部、防災・防犯部、厚生部、文化部、保健・体育部の各部分に分かれて行事を担当しています。

地域住民の親睦を深める自治会主催の年間行事について、
①7月・納涼祭（実行委員会：自治会・地区内の協力団体・藤塚橋通り商店会・新青会・子供会・ふれあいチームで構成）、
②9月・敬老会（実行委員会）、
③11月・歩こう会・ふれあい



大勢でも密を避けての公園清掃

広場（実行委員会）を予定していましたが、昨年はコロナ禍のため、全て中止しました。

地域住民の憩いの場である公園の清掃は、マスクを着用し密を避け、6月と10月の2回実施しました。思った以上に多くの人たちが参加してくれました。また、①②③の行事費用を得るため毎月廃品回収を実施しています。

新 生 五 区 自 治 会



自治会長 木村 亜人

当自治会は、南桜井駅の南東、市内で最東端の踏切に隣接し、約50世帯で構成されています。

活動としては、親睦のための「グラウンドゴルフ大会・懇親会」「新たな年を迎える新年会」等を開催してきております。しかし、本年に限っては「新型コロナウイルス」感染防止のため、思った活動が出来ない状況でした。

当自治会の課題ですが、他の自治会同様「高齢化」を迎えており、若い世代の入居もありませんが、今後を考えると不安材料となっております。

また、防災に対する課題もあります。一昨年の豪雨の際、避難勧告が発令されました。夜中に豪雨の中での放送です。パソコンで情報を収集し対応しましたが、「避難勧告」に対し、どう行動すればよいのか悩みました。



コロナ禍の自治会運営

夜中ですが各世帯に連絡し移動しなければならぬのか。高齢者が多い地域で「避難せよ」と言ったところで、夜中の移動は無理です。

今後の災害に対し防災担当者の配置・訓練等をどのように体系立てて行うのが最重課題であります。皆さまの自治会の災害への備えはいかがでしょうか。

西 金 野 井 西 区



区長 細谷 悟

江戸時代、舟運物流と産業の要衝「城下町関宿」と江戸との往来の中継地であった西金野井の地に、南方より入ってくる陸路端には、かつての南桜井村青年会西金野井支部により設置された道標が残されています。我が自治会は、この道標と国道16号を結ぶ道の西側の住宅地、桜川小学校周辺までの範囲に広がり、約8百世帯が暮らしています。

世代構成は、歴史ある地元を継いでおられる方、一方、新たに移住された若い世代の方との多世代が共住する自治会

の運用体制となっています。令和2年度の事業は、唯一再開されたのは、「えんJoyトレイニング」でしたが、更なる感染拡大を踏まえ、12月から再度自粛を余儀なくされ残念でした。

今後の自治会活動方針として、SDGsパートナーズ登録を受け止め、(1)日々の暮らしの環境づくり、(2)防災意識向上、(3)高齢者への福祉支援、(4)児童見守り、(5)イベント事業、そして近い将来、多様化時代に即した、現役世代にもご理解頂くための情報の共有化を図るツールを活用した、区民の皆様が貢献できる「観える化」を目指し自治会の役割を果たして参りたいと考えております。



えん Joy トレーニング

役員研修会

令和2年
11/18

今回は例年開催されてきた視察研修に代り、コロナ禍で注目を集めている無料で一定使用できるオンライン会議システム「ズーム」の体験研修を、会場となった市民活動センターの協力を得て実施。参加した自治会長各々が、実際にモニター越しに他の会場の参加者の様子を眺めながら、カメラに向かって発言しコミュニケーションをとるといった体験をしました。

初めは戸惑いつつも次第に二コース番組での「リモート出演者」のように登場される



自治会長も見られるほどに。更に、オンライン会議を駆使している市民団体の方々にもリモート参加いただき、活用法や利点などを話してもらい、自治会長からの質問にも応じてもらいました。

「役員らは年輩者ばかりだから、利用できるかどうか?」という意見もありましたが、「孫が学生仲間と良く使っているから、教えてもらうかな」と関心を示す方がいたり、「役員会をズームを使ってやってみる段取りになっている」という声も飛び出るなど、この先の展開が注目されます。

地域貢献賞表彰

この賞は、身近な地域で地道にも立派な活動をされている方々の功績をたたえるもので、今年度は公共生活、生活安全、環境美化、社会福祉等の分野で22人・1団体の皆さま（下記敬称略／自治会順）が表彰されました。長年の地域貢献に感謝いたします。

【推薦自治会名 ● 個人・団体名】

- 仲町町内会 ● 田口 武
- 内谷町会 ● 渡邊 佳昭
- 元町町会 ● 染谷 坦
- 内牧二区自治会連合会 ● 齋藤 真衣子
- 内牧三区 ● 福崎 菊夫
- 栄町三丁目町会 ● 平田 和夫
- 備後宮田自治会 ● 三浦 博
- 備後宮田自治会 ● 八幡 恵美子
- 備後同友自治会 ● 田中 義雄
- 武里中野地区自治会 ● 栗原 浩
- 豊町自治会 ● 樋口 定治
- 豊町南立野自治会 ● 石崎 幸子
- 上蛭田西自治会 ● 田中 正史
- 八丁目上組地区 ● 長 年雄
- 小淵追分自治会 ● 飯山 きぬ子
- 小淵原前地区 ● 佐藤 清
- 本田上自治会 ● 寶明 美男
- 本田上自治会 ● 本田上納涼祭
実行委員会
- 六軒地区自治会 ● 増田 友
- 新宿新田区 ● 大谷 忠男・ユリ子
(西金野井東区)
- 東中野区 ● 小張 勝弘
- 金崎区 ● 長 茂
- 永沼区 ● 小林 きよ子

自治会活動写真 コンテスト

応募総数8自治会56点の中から、自治会活動を良く表し



子どもたちとのパトロール (藤ヶ丘自治会)



バンザイ！いちばんおきいよ♪
(六軒地区自治会)

た写真4点を、緊急事態宣言を受け中止となった理事会に代り、正副会長会議で選定。最優秀賞は今月号の表紙、優秀賞は左の3点です。



夏祭り (立沼町会)

他にもコロナ禍にも負けず対策の上での活動を写したもののなどもありますので、ぜひ、連合会ホームページで全応募写真をご覧ください。

粕壁地区は、江戸時代、日光街道の千住、草加、越谷に続いて第四の宿場町「粕壁宿」として隆盛を誇り、商業の街として発展しました。

春日部駅を中心に東西に分布する23の町会・自治会で構成されており、活発な活動を展開しております。当地区で行われる「春日部藤まつり」には約20万人、また、「春日部夏祭り」には約25万人と、毎年、市内外からの多くの来場者で盛り上がり、最大のイベントとなっています（昨年はコロナ禍の影響で双方とも中止）。

しかしながら、近年、大型商業施設の撤退で見られるように、残念ながら当地区の衰退は覆い難く、中心市街地の再開発が喫緊の課題となっております。そのような中で最優先の課題は、春日部駅付近連続立体交差事業の強力な推進であります。駅東西を随意に往来できることは粕壁地区のみならず、春日部市全体の悲願であると考えております。

更には、新庁舎の早期完成、春日部駅周辺のまちづくり、旧商工振興センターの跡地開発、中央1丁目地区の再開発、古利根川の活用、八木崎地区の再開発等があげられます。引続き官民で連携を図りながら進めていきたいと考えております。

今後とも行政と相携え、会員数の増大と安心安全な、そして活気あるまちづくりに努めて参りたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

粕壁地区自治会連合会 会長 並木 素生

粕壁地区自治会連合会 [23自治会]

上町町内会／木村 浩
仲町町内会／早川 潔
本町地区会／坂田 好之
三枚橋町内会／利根川 茂
一宮町町内会／長谷川 紀八郎
東町町会／福原 政行
川久保自治会／飯島 登
大砂町町内会／中村 正博
元新宿町内会／大野 雅司
内谷町会／佐藤 博
大池町会／寛田 吉一
浜川戸町内会／梅田 正雄

宮本町町会／近藤 輝男
八木崎自治会／青柳 孝男
内出町会／湯崎 憲一
春日町町内会／松永 彰
旭町町内会／吉田 忠明
幸町町内会／伊藤 英夫
富士見町会／津山 宏一
元町町会／飯山 雅一
中央1丁目町会／村田 勤
中央2丁目町会／白石 昌三
立沼町会／並木 素生
(令和3年3月現在／名簿順)

自治会加入促進事業

コロナ禍で感染拡大防止を図りながら行われた加入促進の取組について紹介します。これらの様子は、連合会のホームページにも写真を添えて掲載しておりますのでご覧ください。

1. スローガン掲出・パネル展

市役所本庁舎5階窓への加入促進標語の掲出とともに本庁舎と庄和総合支所でパネル展を実施しました。



2. 各地区での加入促進キャンペーン

粕壁地区 ● ララガーデン春日部で感染拡大防止を図りながら啓発品を配布。
武里地区 ● 大規模新興住宅地(約100世帯)に直接訪問して加入を呼びかけました。

● 他地区でも、転入世帯等に対する個別訪問が行われました。



連合会役員一覧

■ **会長**
時田 美野吉(本田上自治会)

■ **副会長**
並木 素生(立沼町会)
野村 三男(内牧四区地区)
伊澤 秀雄(大枝地区自治会)
小保方 敏美(下蛭田自治会)
鈴木 敏仁
(牛島4番地区自治会)
石田 慎一(米島駅南地区)

■ **理事**
中村 正博(大砂町内会)
青柳 孝男(八木崎自治会)
坂田 好之(本町地区会)
白石 昌三(中央二丁目町会)
田中 良司(梅田二区自治会)
金 一夫
(一ノ割新田・大沼自治会)
野村 幸男
(備後須賀第四自治会)
山崎 勇喜
(武里中野地区自治会)

渡辺 進(大畑自治会)
高橋 泰稔(正善第一自治会)

石島 光男(豊町自治会)
園田 俊博(谷原三丁目町会)
岡本 文雄(ルネ春日部自治会)
関根 金次郎(上蛭田地区)
菱沼 和保(小洲島自治会)
高崎 光英(西不動院野地区)
高橋 一男(新川島自治会)
越沼 正一(本田下自治会)
細谷 悟(西金野井西区)
尼子 公俊(米島第三区)
土淵 光男(桐区)

■ **事務局長**
高倉 康有
(豊町東地区自治会)

■ **会計**
須田 秀雄(梅田本町地区)

■ **監事**
飯山 雅一(元町町会)
上原 孝司(備後上地区)
和井田 彰(八丁目新仲町会)

■ **会報編集委員**
会長・副会長の兼任

(敬称略)

発行者 ● 春日部市自治会連合会
事務局 ● 春日部市役所市民参加推進課内 ☎048-736-1111